

はぼまい 歯舞地区マリンビジョンニュース

Vol.49
2013.6



歯舞地区マリンビジョン協議会事務局では、地域協働の取り組みにより作られた『歯舞地区マリンビジョン計画(平成19年3月策定)』の行動計画について、個々の推進状況など、活動の様子について「歯舞地区マリンビジョンニュース」を発行して、地域の皆様方にお知らせしています。

第1回「歯舞おさかな祭り」2,800人来場!!

歯舞の特産品をPRする第1回「歯舞おさかな祭り」が5月26日(日)、屋根付き岸壁を使用し開催する予定でしたが、歯舞漁港の西市場に会場を変更して開かれ、市民ら約2,800人が新鮮な海の幸を堪能しました。

歯舞地区マリンビジョン協議会の主催で、これまで8月に「こんぶ祭り」は開いていましたが、春のイベントがなく、春の魚のおいしさも多くの人に知ってもらおうと、初めて企画しました。

会場では新鮮な魚介類に加え、一夜干しや缶詰などが購入できるネット販売商品コーナーも設け、来場者は試食しながら商品を買いました。

歯舞漁協女性部が担当する食の販売コーナーでは、昆布うどん、昆布そば、マスのかまぼこ、メンメの吸い物、アブラガレイの蒲焼丼などのメニューが揃い、会場内のテーブルセットは外のチャンチャン焼きコーナーと共に、飲食を楽しむ多くの来場者で埋まりました。

このほか、「お楽しみ抽選会」、子供の部と大人の部に分けての「餅まき」、演歌歌手の山本裕美子さん、阿部武司・清美さんのステージや歯舞小中学校中学生による「よさこい」などが行われ、会場は最後まで賑わいを見せていました。

ご来場いただいた皆様、ありがとうございました!



<「歯舞おさかな祭り」ポスター>



<開会の挨拶をする歯舞漁協竹内組合長>



<食の販売コーナー>



<ネット販売商品コーナー>



<鮮魚販売コーナー>



<歯舞小中学校中学生による「よさこい」>



<大漁旗が掲げられた会場内>

歯舞小中 中学1年生がアサリ漁場整備と稚貝移殖作業を体験

5月13日（月）、歯舞小中学校の中学1年生によるアサリ漁場整備作業と稚貝移殖作業を実施しました。この水産学習は、歯舞小中学校が地域の産業を学ぶ「はぼまい学」と称した総合的な学習の一つに組み込まれています。

講義が20分、実作業が40分と限られた時間でしたが、講義はより臨場感のある漁業者の生の声が届くようにアサリ部会部会長が行い、生徒たちも興味深く講義を受けていました。

漁場での実作業では、移植作業中のアサリ部会員全員が講師となり、アサリを掘る生徒たちの指導にあたりました。

生徒たちから「掘った貝やその他生物の名前、アサリがどういう場所に沢山いるのか」といった様々な疑問が飛び出すたびに、簡単な言葉で素早く指導できるのはプロのアサリ漁師だから出来ることであり、生徒たちも部会員も楽しく作業を行っていました。

生徒たちからは、「たくさんの行程があって自分たちの食べるアサリがあるのだとわかった」、「実際にやってみて大変さがわかった」といった感想があがり、地元の産業やつくり育てる漁業を学ぶ貴重な場となりました。



＜アサリ部会部会長の講義＞



＜アサリ掘りを体験した生徒たち＞

歯舞小中 中学3年生が札幌で「はぼまい昆布しょうゆ」をPR！

歯舞小中学校の中学3年生が5月15日（水）、修学旅行で訪れたJR札幌駅構内で、「はぼまい昆布しょうゆ」のミニボトルと生徒お手製のチラシを配布し、地元商品をPRする活動を行いました。

配布場所となった西改札口前では、報道カメラ3社のほかに新聞記者3名も待機。法被に身を包んだ生徒たちがしょうゆとチラシの入った袋を配り出すと、一気に人混みが出来、用意した1,000本が約30分でなくなる盛況ぶりでした。配布と同時に「はぼまい昆布しょうゆ」についてのアンケートも実施し、「はぼまい昆布しょうゆ」の人気ぶりに触れた生徒たちは、わが町のブランド力に驚いていました。

その前日に、「はぼまい昆布しょうゆ」を製造する北海道キックマン(株)千歳工場も訪れ、熱心に見学していた生徒たちは、地元の産業に関心を持ち、地元愛をさらに深めてくれることを期待します！



＜通行人が殺到しました＞



＜「はぼまい昆布しょうゆ」についてアンケートを実施＞

■ 編集・発行・お問い合わせ ■

■編集・発行

歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

■お問い合わせ

事務局 担当：根室市水産経済部水産港湾課水産振興担当

電話：0153-23-6111 FAX：0153-24-8692

